



東北大学総合学術博物館 presents

地学から 災害を学ぼう！ in 松島

2017年12月10日(日) 13:00～16:00

会場：松島町石田沢防災センター

(宮城県 宮城郡松島町 松島字石田沢 12-2)

入場無料

主催：東北大学総合学術博物館

共催：松島町、松島町教育委員会

後援：宮城県、宮城県教育委員会

協力：みちのく博物楽団、(株) エリジオン

イベント内容

講演会：13:00～14:00 先着100名様

13:00～13:30 (質疑応答込み)

「地震・津波と火山、災害の歴史」

西 弘嗣 東北大学総合学術博物館教授

13:30～14:00 (質疑応答込み)

「松島の大地はどのようにできたか」

高嶋礼詩 東北大学総合学術博物館准教授

体験コーナー 14:00～16:00

・3D デジタル震災遺構 MR 体験会 (中学生以上)

・宮城県から見つかるアンモナイト化石のレプリカを作ろう

先着200名様 (小学生以上)

実施：みちのく博物楽団

東北大学総合学術博物館が松島町の石田沢防災センターで「地学から災害を学ぼう！ in 松島」を開催します。私たちの足元にある地球を知ることにより、災害について学んでいただこうと考えています。

講演では地学を専門とする東北大学総合学術博物館の教員が、地震・津波と火山に着目した災害の歴史、松島はどうやって今ようになったのか？をお話しします。地学的に災害や地域を見ることで、防災を考えるうえで必要な知識をご紹介します。

体験コーナーでは、Mixed Reality システムで震災遺構の VR 体験（中学生以上）やみちのく博物楽団の大学生と一緒に宮城県から見つかる化石について勉強しながら化石のレプリカ作りをします。

事前参加登録はありませんので、ぜひ皆さんお誘いあわせの上ご来場ください。

講演会 (13:00 ~ 14:00)



津波堆積物（東北大学総合学術博物館蔵）



松島層を作る凝灰岩

体験コーナー (14:00 ~ 16:00)



MRによる震災遺構体験展示



みちのく博物楽団による宮城県産アンモナイト化石のレプリカ作り

開催日時：2017年12月10日（日） 13:00 ~ 16:00

開催場所：松島町石田沢防災センター（宮城県 宮城郡松島町 松島字石田沢 12-2）

入場無料

主催：東北大学総合学術博物館

共催：松島町、松島町教育委員会

後援：宮城県、宮城県教育委員会

協力：みちのく博物楽団、(株) エリジオン

問い合わせ先

東北大学総合学術博物館 <http://www.museum.tohoku.ac.jp>

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

TEL/FAX 022-795-6767 e-mail:joho@museum.tohoku.ac.jp

